

介護給付費過誤申立書

山梨県
介護給付費審査委員会 殿

(提出元)

事業所名	
担当者名	
電話番号	
FAX番号	

(事業所提出用)

平成 年 月 日

保険者番号					
保険者名					

下記の介護給付について、過誤を申し立てます。

事業所番号	被保険者番号 被保険者氏名	サービス提供年月	申立事由コード※1	申立事由	過誤取下額(請求額)※2
		平成 年 月			円
		平成 年 月			円
		平成 年 月			円
		平成 年 月			円
		平成 年 月			円
		平成 年 月			円
		平成 年 月			円
		平成 年 月			円
		平成 年 月			円
		平成 年 月			円

※1 申立事由コード (前2桁)様式番号 10:様式第二 11:様式第二の二 21:様式第三 24:様式第三の二 22:様式第四 25:様式第四の二 23:様式第五 26:様式第五の二 30:様式第六 31:様式第六の二 32:様式第六の三 33:様式第六の四(予防特定施設入居者生活介護) 34:様式第六の五 35:様式第六の六 40:様式第七 41:様式第七の二 50:様式第八 60:様式第九 70:様式第十 (後2桁)理由番号 01:台帳過誤(保) 02:請求誤り 09:時効取下(保) 11:台帳過誤(事) 12:同月取下 21:台帳過誤(公) 29:時効取下(公) 42:適正化取下・その他・保 43:適正化取下・ケアプラン・保 44:適正化取下・医療費通知・保 45:適正化取下・医療突合・保 46:適正化取下・縦覧点検・保 47:適正化取下・給付実績・保 49:適正化同月・その他・保 4A:適正化同月・ケアプラン・保 4B:適正化同月・給付費通知・保 4C:適正化同月・医療突合・保 4D:適正化同月・縦覧点検・保 4E:適正化同月・給付実績・保 52:適正化取下・その他・公 53:適正化取下・ケアプラン・公 54:適正化取下・医療費通知・公 55:適正化取下・医療突合・公 56:適正化取下・縦覧点検・公 57:適正化取下・給付実績・公 59:適正化同月・その他・公 5A:適正化同月・ケアプラン・公 5B:適正化同月・給付費通知・公 5C:適正化同月・医療突合・公 5D:適正化同月・縦覧点検・公 5E:適正化同月・給付実績・公 62:不正請求取下 69:不正請求同月取下 90:その他事由による台帳過誤 99:その他の事由による実績取り下げ	保険者別 合計額	円
	総合計額	円

※2 過誤取下額(請求額)欄については、国保連合会に請求した介護給付費もしくは公費の請求額を記載し、公費併用の場合は、介護給付費請求額と公費請求額を合算して記載すること。

記載例

山梨県
介護給付費審査委員会 殿

(提出元)

事業所名	
担当者名	
電話番号	
FAX番号	

提出日を記載してください。
(事業所提出用)

平成 年 月 日

保険者番号・
保険者名は
必ず記載して
ください。

保険者番号 1 9 0 0 0 0

保険者名 国保市

事業所からの過誤申立の場合、所在地・連絡先は記載省略可。

下記の介護給付について、過誤を申し立てます。

事業所番号	被保険者番号 被保険者氏名	サービス提供年月	申立事由コード※1	申立事由	過誤取下額(請求額)※2
1 9 7 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 国保太郎	平成 20年4月	1 0 0 2	請求誤りによる実績取下	86,346 円
1 9 7 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 国保太郎	平成 20年5月	1 0 0 2	適正化による過誤	13,000 円
	0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 国保太郎	平成 20年6月	1 0 0 2	"	13,000 円
	0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 国保太郎	平成 20年7月	1 0 0 2	"	13,000 円
	0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 国保太郎	平成 20年8月	1 0 0 2	"	13,000 円
1 9 7 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 1 1 1 1 1 国保太郎	平成 20年9月	1 0 0 2	"	13,000 円
		平成 年 月			

被保険者番号は必ず10桁
で、10桁にみえない場合は、
頭に0をつけて記載してくだ
さい。

明細書様式毎にコード番号
が変わります。

注:
①様式毎に過誤されるため、
例えば訪問介護と通所リハ両
方過誤したい場合は、1行記
載すれば両方過誤される。
②逆に訪問介護・訪問看護・
訪問リハのサービスをしてい
て、訪問看護だけ過誤したい
場合でも他の2サービスも過
誤されてしまう。

申立事由は同じ事由が
続く場合省略可。

事業所番号、被保険者番号、サービス提供年月、申立事由
コードは同じものが続く場合でも省略しないでください。

※1 申立事由コード
(前2桁)様式番号

- 10: 様式第二(訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハ・居宅療養管理指導・通所介護・通所リハ・福祉用具貸与・夜間対応型訪問介護・認知証対応型通所介護・小規模多機能型居宅介護)
- 11: 様式第二の二(予防訪問介護・予防訪問入浴介護・予防訪問看護・予防訪問リハ・予防居宅療養管理指導・予防通所介護・予防通所リハ・予防福祉用具貸与・予防認知証対応型通所介護・予防小規模多機能型居宅介護)
- 21: 様式第三(短期入所生活介護) 24: 様式第三の二(予防短期入所生活介護) 22: 様式第四(短期入所療養介護(介護老人保健施設)) 25: 様式第四の二(予防短期入所療養介護(介護老人保健施設)) 23: 様式第五(短期入所療養介護(病院または診療所)) 26: 様式第五の二(予防短期入所療養介護(病院または診療所))
- 30: 様式第六(認知症対応型共同生活介護) 31: 様式第六の二(予防認知症対応型共同生活介護) 32: 様式第六の三(特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護) 33: 様式第六の四(予防特定施設入居者生活介護) 34: 様式第六の五(認知症対応型共同生活介護(短期利用型)) 35: 様式第六の六(予防認知症対応型共同生活介護(短期利用型)) 40: 様式第七(居宅介護支援) 41: 様式第七の二(介護予防支援) 50: 様式第八(介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設) 60: 様式第九(介護老人保健施設) 70: 様式第十(介護療養型医療施設)

(後2桁)理由番号

- 01: 台帳誤り修正による保険者申立 02: 請求誤りによる実績取り下げ 09: 時効による保険者申立の取り下げ 11: 台帳誤り修正による事業所申立の過誤調整 12: 同月過誤取り下げ再請求 21: 台帳誤り修正による公費負担者申立 29: 時効による公費負担者申立の取り下げ 32: 給付管理票取消による実績の取り下げ 42: 適正化による保険者申立の取下げ 49: 適正化による保険者申立の同月過誤取下げ再請求 52: 適正化による公費負担者申立の取下げ 59: 適正化による公費負担者申立の同月過誤取下げ再請求 90: その他事由による台帳過誤 99: その他の事由による実績取り下げ

※2 過誤取下額(請求額)欄については、国保連合会に請求した介護給付費もしくは公費の請求額を記載し、公費併用の場合は、介護給付費請求額と公費請求額を合算して記載すること。

保険者別
合計額

151,346 円

総合計額

151,346 円

(1 枚中 1 枚目)